

## 3割のシニアがSNSを使い自ら情報発信する事に関心あり

～分析結果で見えてきた趣味との深い関係 「写真」「美術」が鍵

株式会社NTTドコモ モバイル社会研究所

### 目次

調査結果1 : SNSの発信、利用と意向が高いシニアの傾向

調査結果2 : 趣味とICT端末利用の関係

### ■ 調査結果

#### 1— SNSの発信に関心があるシニアは3割

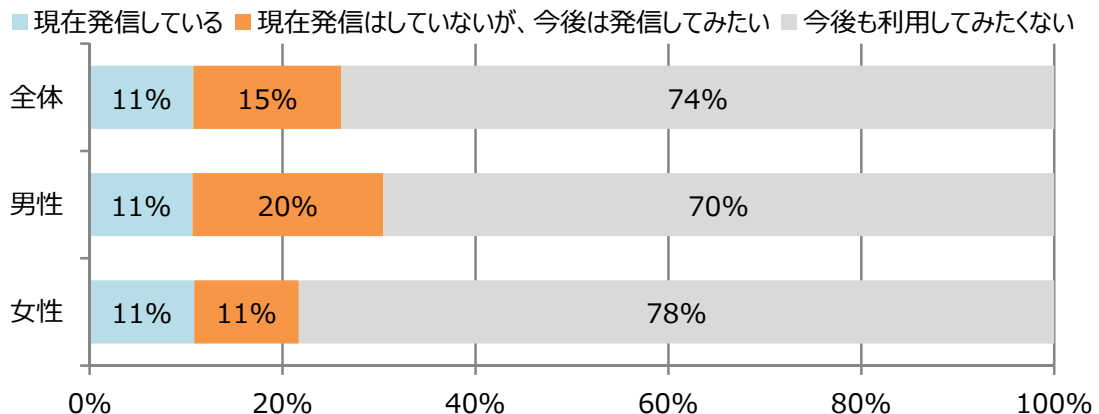
シニアがSNSを使い、自ら情報を発信している人はいったいどれ程いるであろうか。また、今はおこなっていないくても、興味がある人はどれくらいいるのか。

シニアを対象とした調査の結果、現在発信をおこなっているのは約1割、今は使っていないが、今後使ってみたくないと意向を表したシニアは2割弱存在し、合わせて3割弱が関心を持っていることが判明した。男女別にみると利用している割合に差はなかったが、意向は男性の方が高い結果となった(図1)。

それでは、どんなシニアが発信・発信してみたくないと示しているか、同じ調査で確認した他の結果を合わせて考察してみる。まず、心理的特徴であるが、利用・意向ともに「好奇心旺盛」であった。ただ、利用しているシニアは「社交家」であり、意向を示しているシニアは「心配性」という特徴が見られて。仮に安全で安心して使えるコミュニティの場が提供されれば、意向が利用への変わっていく可能性を秘めている。

さらに注目したいのが「趣味」との関わりである。SNSを発信している人の趣味を見ると、平均的なシニアよりかなり高い値を示したのが「美術」「映画」「写真」「グルメ」であり、意向は「写真」「ショッピング」であった。発信している情報、もしくは発信したい情報はこのような趣味に関する情報かもしれない。

図1 SNSの発信の利用・意向状況



出展) モバイル社会研究所調べ

## 2

### 趣味によってスマホ・パソコンの利用率が異なる

次に先ほど注目したシニアの趣味の調査結果を紹介する。まずシニアの趣味15種をあげ、該当する趣味を聞いた結果「園芸」「旅行」「散歩」が上位となった。そして、趣味とICT端末利用を合わせて、「写真」や「美術」が趣味の人は他のシニアと異なりスマホの利用が高い。さらに、「写真」「美術」、さらに「読書」「映画」「スポーツ」が趣味のシニアは、パソコン利用が高いという興味深い結果を得た。持っている趣味によって、使っているICT端末に一定の差が生じたこの結果は、シニアへの「スマホ」「パソコン」の普及のヒントになる可能性がある(図2)。

図2 趣味とICT端末利用

趣味	趣味と答えた率	ICT端末利用率	
		スマホ(タブ含む)	パソコン
園芸	42%	27%	39%
旅行	40%	30%	53%
散歩	38%	24%	46%
読書	29%	28%	60%
スポーツ	27%	34%	57%
音楽	22%	31%	54%
ショッピング	17%	34%	45%
映画	16%	35%	58%
カラオケ	15%	30%	44%
手芸	14%	34%	48%
グルメ	13%	30%	49%
写真	8%	52%	67%
美術	8%	44%	66%
おしゃれ	8%	34%	49%
パチンコ	5%	26%	33%

出展)モバイル社会研究所独自調べ

#### ■今後の掲載予定

今後も、シニアの生活とICTの利用とどのような関係があるのかなど、次号以降で紹介する予定である。なお調査結果については、「データで読み解くスマホ・ケータイ利用トレンド2016-2017 ケータイ社会白書」(2016年10月発刊)の中でも記載している。

#### ■調査概要(シニアの生活実態調査:訪問留置調査)

調査時期 : 2015年10~11月 調査対象 : 関東(1都6県)在住、60~79歳男女  
標本抽出法 : QUOTA SAMPLING 性別・年齢・居住地(都市規模)で割付530サンプル回収

#### ■問い合わせ先

グループの分け方、詳細な特性など、ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

株式会社NTT ドコモ モバイル社会研究所 msri-inq-ml@nttdocomo.com